

外壁塗膜防水材料

セブンウォール シーラーレス

水性なみがた仕上 S工法4工程
1液型アクリルシリコン樹脂塗料

施工要領書

 株式会社セブンケミカル

下地処理

1. 下地摘要範囲

既存塗装の有る外壁面

リシン仕上げ・吹き付けタイル／スタッコ仕上げ・単層弾性仕上げ面等。

2. 下地調整

改修下地の場合

下地は十分に高圧洗浄(150kg/cm²以上)し、表面に塵埃、付着異物、カビ、藻等が残らぬよう十分に除去し下地を乾燥させる。

- ① 下地の浮きや、強度不良になっている箇所はサンディング処理し、大きな凹部は、下地調整材、弾性モルタル等で補修処理する。
小さな凹部、クラック部は、セブンウォールシーラーレス1:2珪砂粉または、寒水粉(重量比)練り込んで補修する。
- ② リシン吹付面下地では、骨材の粗面が目立たない程度にケレンするか、下塗後、セブンウォールシーラーレスを捨て塗り平滑にする。
- ③ 特殊材料で仕上げられている下地については、その都度打合せの上、下地処理を行う。

大きなクラックはUカットし、シーリング材を充填し、下地調整材等で平滑に仕上げる。
(シーリング材により塗装面を変色させることがありますので注意が必要です。)

- ⑤ モルタル仕上げの場合は、木ゴテまたは、金ゴテ仕上げを行う。
- ⑥ 下地調整、洗浄後は、下地及び表面を十分に乾燥させて下さい。

セブンウォールの施工

水性1液型アクリルシリコン樹脂仕上げ

□ セブンウォールシーラーレスの2工程(S工法) なみがた仕上げ

工程	使用材料	希釈 (重量%)	所要量 (Kg/m ²)	塗り 回数	工程間隔 (時間)	使用器具
1 防水層Ⅰ	セブンウォール シーラーレス	清水 0~5	1.0	1	5~72	多孔質ローラー
2 防水層Ⅱ	セブンウォール シーラーレス	清水 0~5	1.0	1	24以上	多孔質ローラー
3 上塗りⅠ	セブンウォールトップ W-SS	清水 0~20	0.3	1	5以上	ローラー(中毛)、 スプレー、刷毛など
4 上塗りⅡ	セブンウォールトップ W-SS	清水 0~20	0.3	1	24以上 (最終養生)	ローラー(中毛)、 スプレー、刷毛など

□ 施工環境

- ① 気温5℃以下、湿度80%以上の施工は、使用材料の造膜性に支障をきたす恐れがあるので、施工を避ける。
- ② 降雨降雪、霧発生のあるときは、施工を避ける。
- ③ 風速5m/sec以上の時は、飛散公害防止のため、適当なシート養生を施し、施工に十分注意する。
- ④ 養生材には、ポリフィルム、クラフト紙、新聞紙などを、粘着テープで貼り付け、塗装面以外の箇所を汚染しないようにする。
- ⑤ セブンウォールシーラーレス及び、セブンウォールトップWSSは、水性ですので保管場所に気を付け凍結などに十分注意する。

セブンウォールシーラーレスの標準施工方法

水性1液型アクリルシリコン樹脂仕上げ

1. 養生

2. 施工前の注意

施工に入る前に試験塗りをを行い、パターン、色を十分に確認する。

3. 防水層塗り下地

既存塗装面にセブンウォールシーラーレスの付着を妨げるような異物が無いこと。

下地が十分遺憾そうしていること。

無希釈でむらなく十分塗布する。

4. 防水層塗り I

①材料は、上下層を攪拌機で、気泡の入らないよう均一に混合して使用する。

②当日の気温、湿度など状況に合わせ、水道水2～5%（重量比）希釈し施工する。

③セブンウォールシーラーレスを1.0Kg/m²均一にむらなく塗付する。

④1回目の塗膜は防水層として機能を果たせるもので、十分に注意して均一にむらなく仕上げる。

⑤ 24時間以上乾燥させる。

防水層塗り II

①材料は、上下層を攪拌機で、気泡の入らないよう均一に混合して使用する。

②当日の気温、湿度など状況に合わせ、水道水2～5%（重量比）希釈し施工する。

③ 1回目塗りをした防水層塗膜の上に、密な造膜形成を計るため、セブンウォールシーラーレス1.0kg/m²を重ね塗りする。

④所定の模様になるように多孔質ローラーの運行を調整する。

⑤ 24時間以上乾燥させ、次工程に入る。

5. 上塗り

セブンウォールトップW-SSを十分に攪拌し均一にしてから使用します。

必要に応じ、水道水0～20%（重量比）希釈し、よく混合後、だれ、むらなどに注意しエアレススプレー、ローラー、刷毛などで均一に規定量を2回塗りして仕上げる。

1回目塗装後十分に乾燥し指蝕の無いことを確認した後、2回目塗りし所要量0.3kg/m²を使用して仕上げる。

注意事項

1. 施工上の注意事項

- ① 施工途中、乾燥途中で雨が降ってきたときは、施工を中止し、少なくとも塗膜が乾燥するまでテントなどで覆って流出しないように処置する。
流出した場合は全面除去して再施工を行う。一部が流出した場合は、その箇所を切り取り、セブンウォールシーラーレスをコテまたは、ヘラなどで塗り付け、予め下地を作成し、塗り継ぎがないように塗付ける。
- ② 施工完了後、汚れ、傷などが表面に生じたときは、上塗り材にて再施工する。
主材まで傷がたっている場合下塗りから再施工する。
- ③ 養生テープは、施工後、直ちに取り外す。
時間が経った時は、必ずナイフカットして取り外す。
- ④ 乾燥途中で水をかけない様にする。
- ⑤ 汚染箇所は拭き取る。
- ⑥ 引渡しにあたっては、足場解体前に、現場係員の立ち会い検査を行う。
- ⑦ セブンウォールトップMSマイルド及び、セブンウォールトップMSライトは溶剤です。
狭い場所では換気に注意し、防毒マスクなどの対策をして下さい。
引火性がありますので火気厳禁です。

2. 保管上の注意事項

- ① 風雨、直射日光を避け、常温保管を心掛ける。
- ② セブンウォールシーラーレス主材の保管は0℃以上の場所で保管する。
- ③ セブンウォールトップMSマイルド、セブンウォールトップMSライト、及びセブンウォールトップライト／マイルドシンナーは溶剤ですので
狭い場所での換気に注意し、防毒マスクなどの対策をして下さい。
引火性がありますので火気厳禁です。

使用材料一覧表

製品名	容量	荷姿
セブンウォールシーラーレス	16Kg	石油缶
セブンウォールトップW-SS 水性1液型アクリルシリコン樹脂	15Kg	石油缶
セブンウォールトップMSエコ 水性2液型アクリルシリコン樹脂	15.4Kgセット	石油缶



東京都新宿区西新宿7-17-14(源共同ビル)
TEL 03(3366)2616 FAX 03(3366)2619
e-mail kuroyanagi@seven-chemical. co. jp
e-mail hukuda@seven-chemical. co. jp